

絵本紹介

夏のおすすめの絵本を紹介します!!



にじ組

題名『あさがお』 作:荒井真紀 絵:荒井真紀

出版社:株式会社 金の星社

あさがおの絵本です。にじ組でもあさがおを育てています。成長するとグリーンカーテンになり、部屋も涼しく、あさがおの花を見ると夏の疲れも吹き飛ばぐらいの気持ちになりますよね!この絵本は、種まきから花が咲いて次の種ができるまでの成長がとても分かりやすく描かれています。子どもたちはこの絵本を見ながら「今のあさがおはこんな感じだよね」「お花が咲いた後はまた種になるんだ」等と何度も何度も見返して楽しんでいます。子どもたちの生活のなかで身近な「夏の出来事」としておすすめします!!

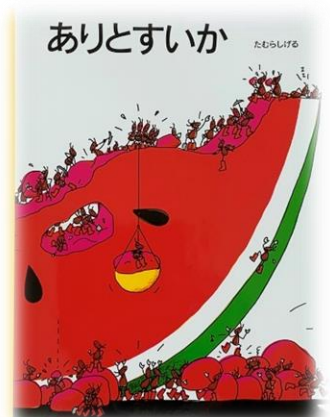


ほし組

題名『ありとすいか』 作:たむらしげる 絵:たむらしげる

出版社:ポプラ社

夏といえばスイカ!!という方は多いのではないのでしょうか。子どもたちも給食に出てくるスイカを皮がぺらぺらになるまで食べたり種の個数を数えたりしています。子どもたちとは大型絵本版で見ました。画面いっぱいスイカが描かれていたりアリの世界に行ったかのように大きな巣の場面があったりと大型絵本ならではのワクワクがありました。また、そこからアリの巣に興味をもつ子やアリって力持ちなんだねと絵本を通して興味をもつ子がいました。一場面の中でもアリたちがいろいろなところで様々な働きをしているので、じっくり会話をしながら読める絵本なのではないでしょうか!



そら組

題名『みずとはなんじゃ?』 作:かこさとし 絵:鈴木まもる

出版社:小峰書店

この絵本は、イラストを使ったり分かりやすく例えたりしながら水の性質について知ることが出来ます。そら組の子どもたちにこの絵本を読み聞かせをした際には、とても真剣に見入っていました。そして読み終えた後の感想は「水ってすごい」の一言でした。少し難しい内容ではありますが、様々なことに興味をもったり疑問に感じたりしたときに図鑑などで調べることが大好きなそら組さんならではの一冊だと思います!!

